

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	大分大学大学院医学系研究科						
教育プログラム・コース名	多様なニーズに貢献するがん看護専門看護師コース（修士課程）						
対象者	大分大学医学系研究科大学院生（修士課程）						
修業年限（期間）	2～4年						
養成すべき人材像	多様なニーズに貢献するがん看護専門看護師コース：がん患者のさまざまな治療過程やライフステージに応じて、専門性を基盤とした高度な実践や看護職を含むケア提供者に対する教育や相談、研究、保健医療福祉チーム内の調整、倫理的課題の調整ができる看護職の養成。						
修了要件・履修方法	修士課程の科目の単位を取得し、学位論文審査に合格すること。						
履修科目等	<必修科目・共通科目> 看護理論（2単位）、看護倫理（2単位）、看護研究概論（2単位）、保健医療福祉政策論（2単位）、看護コンサルテーション論（2単位）、看護専門職教育論（2単位）、看護サービス論（2単位）、フィジカルアセスメント論（2単位）、病態生理学（2単位）、臨床薬理学（2単位） <必修科目・専門科目> がん病態生理・治療論（2単位）、がん看護論（2単位）、がん看護援助論（2単位）、緩和ケア論Ⅰ（2単位）、緩和ケア論Ⅱ（2単位）、緩和ケア論Ⅲ（2単位）、緩和ケア論Ⅳ（2単位）、がん看護実践演習（2単位）Ⅰ、がん看護実践演習Ⅱ（2単位）、がん看護実践演習Ⅲ（2単位）、がん看護実践演習（2単位）Ⅳ、がん看護実践課題研究（2単位）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	がん患者のライフステージによる多様なニーズに応じた援助方法や地域包括ケアとしてのチーム医療や在宅医療における連携・調整能力を強化した内容である。						
指導体制	大学院各研究責任者により指導を行う。また、大分大学医学部附属病院や地域のがん診療連携拠点病院、在宅医療機関（在宅医、訪問看護ステーション）等での医師、看護職、薬剤師、心理士、福祉職等による実習の指導体制を取っている。その他、各コース責任者・担当者、e-ラーニング担当者などにより企画されるセミナーや講習会を通じて指導を行う						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	日本看護協会のがん看護専門看護師資格認定を受け、がん診療連携拠点病院及び地域の中核病院で、看護管理部門の看護実践における変革推進者の中心となり、看護及びチーム医療の向上に貢献する。						
受入開始時期	平成29年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	大学院生	2	2	2	2	2	10
							0
							0
							0
	計	2	2	2	2	2	10